

令和4年（2022年）8月

総務委員協議会資料

観光にぎわい部観光交流課

案件

・大阪・関西万博に向けた観光施策の展開について

1. 政策等の背景・目的及び効果

令和7年（2025年）の大阪・関西万博に向け、大阪湾から淀川上流までの淀川舟運の周航が可能となる淀川大堰閘門の整備が着手されるなど、沿川地域の活性化への機運がこれまでになく高まっています。

かつて淀川舟運の中継港として、行き交う三十石船に煮売り船で飲食物を売りつけた言葉「くらわんか」をキーワードに、市内外から多くのヒト、コト、モノが行き交う現在版の「中継港」として、枚方宿を起点に観光客が滞在・周遊できる魅力ある観光まちづくりを促進します。

本市の観光施策を戦略的に展開するにあたっては、民間事業者との連携を基本とし、枚方宿を起点としながら、枚方市駅、淀川河川エリア、枚方公園駅を面で捉えた地域活性化を核としながら、市内に点在する地域資源についてもまちを楽しんでもらうための素材として活用していきます。

2. 内容

(1) 枚方市観光ロードマップの作成について

万博に向けて重点的に展開する観光施策の方向性等を示すことで、様々なステークホルダーとの連携による地域活性化を図っていくため、枚方市観光ロードマップを作成し公表します（別紙）。方向性を同じくする民間事業者との公民共創を促進し、万博後を見据えた持続的かつ魅力ある観光コンテンツの充実や地域資源を活用したツーリズムなどの実現を図ります。

(2) 観光ロードマップの主な内容について

① 幼児療育園跡地の活用について

街道を人が行き交うきっかけとなるような「枚方宿地域の賑わい創出の拠点」となることを目指し、事業者公募による民設民営手法により整備を進めます。

それに先立ち、広く事業者の意見や提案を聞くため、公募型サウンディング調査を実施します。

◇ 主なサウンディング調査項目

A 事業のアイデアについて

- ・ 想定できる施設及びその機能の概要等（施設全体の考え方）
- ・ にぎわい創出と交流促進に有効と考える機能、用途等（集客のアイデア等）
- ・ 事業の継続性の確保策について
- ・ 運営等を通じて枚方宿のまちづくりに貢献できること
- ・ 枚方宿の街並み景観向上の観点

B 事業化について

- ・ 望む事業スキーム
- ・ 参加意欲と市に求める条件等

②観光施策の担い手について

ロードマップの実現に向けては、行政機関や枚方文化観光協会をはじめ、様々な民間事業者と連携し、それぞれの強みを生かしながら連携し、戦略的に観光施策を展開する必要があります。

枚方文化観光協会については、観光施策の礎となる、伝承、地域資源を含めた歴史文化の継承・活用を求めるものとし、活動補助金や事業委託の在り方についても方向性に沿う内容に見直します。

また、観光施策を経済活性化につなげていくためには、経営の視点を持って戦略策定・各種データの収集分析・商品創出・効果的なプロモーションを行う観光地域づくり法人（DMO）に旗振り役を担ってもらう必要があることから全国でDMO設立実績のある団体と連携しながら確立を目指します。

③現観光ステーションの閉鎖及び新たな観光ステーションについて

市駅周辺再整備により京阪枚方市駅東改札前の市民ふれあいセンターが10月末に閉鎖することに伴い、枚方観光協会事務所は一時的に枚方市立鍵屋資料館内に移転します。ひらかた観光ステーションについては機能を縮小し、鍵屋別館内のテナントに移転します。

新たな観光ステーションについては、令和6年度（2024年度）前期のオープンを予定しており、これまでにない枚方市域全体の観光拠点として機能を見直します。運営に当たっては、ノウハウのある民間事業者を中心としながら、枚方文化観光協会とも連携していくことを検討します。

◇新たな観光ステーション機能案

コンセプト：ふらっと立ち寄ってその日の楽しみが見つかる場所

- ・立ち寄ってくつろげるオープンなデザイン
- ・イベント情報の入手やツーリズム販売、ICTを活用した情報発信
- ・事業者によるワークショップ体験や、
大規模イベント時の一時預かり保育などに活用できる多目的スペース

(3) 観光施策の推進体制について

戦略的な観光施策の展開には、民間事業者との連携を基本としながらも、民間事業者主体で継続的に収益を上げて事業化していくにあたっては、枚方宿などでの魅力ある歴史・観光コンテンツの拡充や河川敷エリアでの拠点整備、ツーリズムを呼び込むための実証実験イベントの支援など、行政における財源措置も一定必要であることから、令和4年（2022年）7月に地域再生計画が認定されたことで、可能となった企業版ふるさと納税等の活用や観光庁等の補助金活用なども併せて進めていきます。

3. 実施時期等

- 令和4年（2022年）9月 枚方市観光ロードマップの公表
幼児療育園跡地活用に向けた公募サウンディング
 - 10月 現観光ステーションの閉鎖及び移転
 - 11月 総務委員協議会において上記サウンディング結果及び今後のスケジュール等の報告
- 令和6年度（2024年度）前期 新たな観光ステーション開設

4. 総合計画等における根拠・位置付け

総合計画 基本目標 地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち
施策目標19 地域資源を生かし、人々の交流が盛んなまち



思わず立ち寄りたくなる

淀川の中継港へ

「枚方宿」起点に観光をデザイン

枚方に行けば **楽しい** **おいしい** が待っている!

2025年大阪・関西万博に向け、大阪湾から上流までの淀川舟運の周航が可能に！
思わず立ち寄りたくなる淀川の中継港をコンセプトに観光まちづくりを進めます。

枚方観光 = **くらわんか** **ツーリズム**

かつて淀川を行き交った三十石船に煮売り船で飲食物売りつけた言葉

地域資源を活用
百済寺跡や楠葉台場などの歴史・文化財、盛んな文化芸術活動、東部地域の農資源、パナソニックパンサーズなどプロスポーツチーム、枚方T-SITEやくずはモール、市内企業まで観光連携を図りツーリズムを実施していきます。



万博後も見据え推進

淀川舟運の観光魅力の充実

- 船上でくらわんか舟体験
- まち歩き、サイクリング連携

アウトドア空間の日常化

- アクティビティ×グルメ
- 拠点整備(更衣室等)

観光ステーションの多機能化

- ICT活用した省スペースPR
- 市内全域への周遊促進

文化芸術センター

- 人を呼び込む催し
- 公演チケット提示割引

ホテル

- 宿泊者へ散策促す
- 舟運→鑑賞→宿泊

療育園跡地活用

- 賑わい創出の拠点へ
- 枚方宿と淀川の結節点

淀川舟運

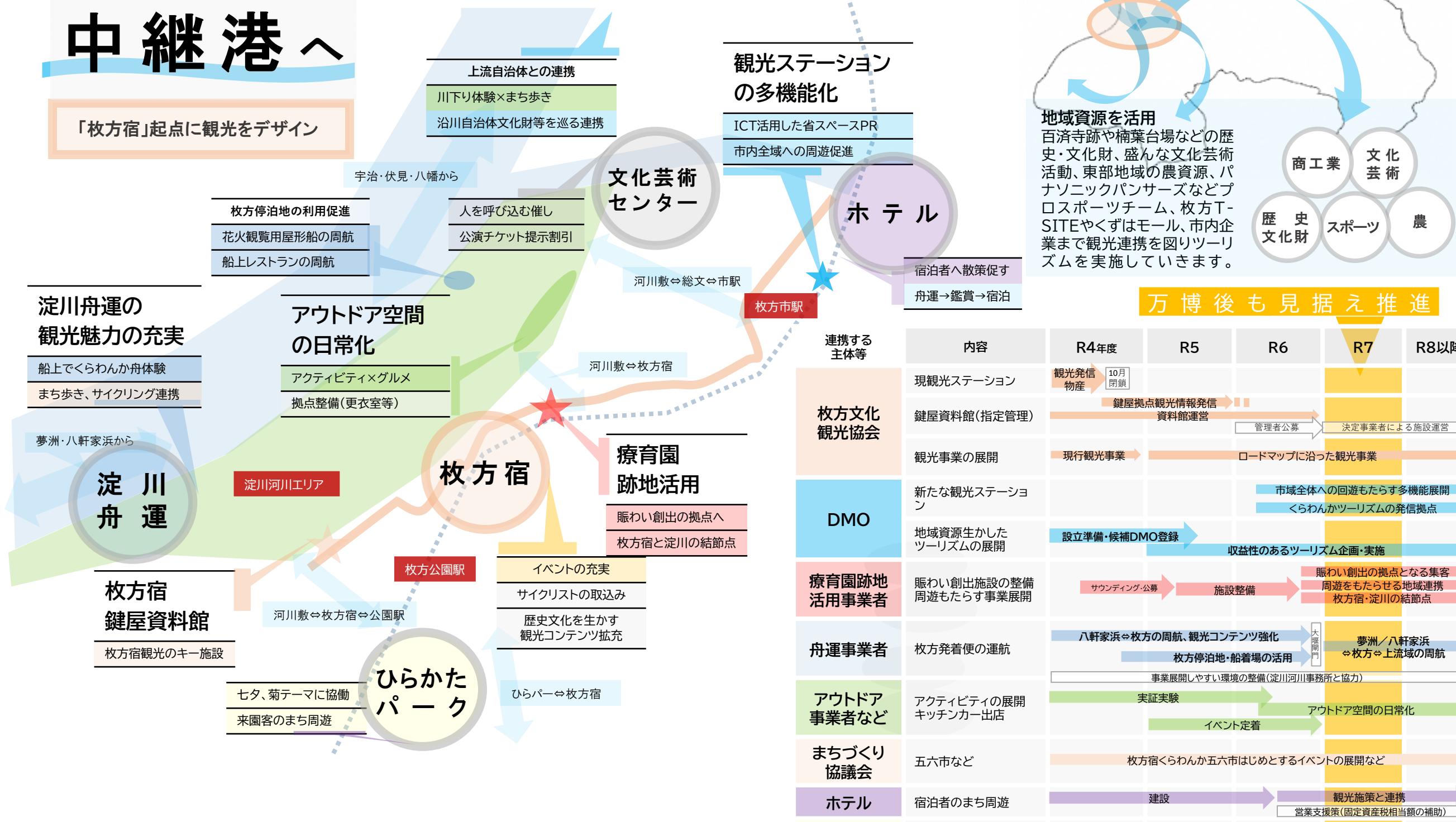
夢洲・八軒家浜から

枚方宿 鍵屋資料館

枚方宿観光のキー施設

ひらかたパーク

- 七夕、菊テーマに協働
- 来園客のまち周遊



連携する主体等	内容	R4年度	R5	R6	R7	R8以降
枚方文化観光協会	現観光ステーション	観光発信物産 10月閉鎖				
	鍵屋資料館(指定管理)	鍵屋拠点観光情報発信	資料館運営	管理者公募	決定事業者による施設運営	
	観光事業の展開	現行観光事業		ロードマップに沿った観光事業		
DMO	新たな観光ステーション			市域全体への回遊もたらす多機能展開	くらわんかツーリズムの発信拠点	
	地域資源生かしたツーリズムの展開	設立準備・候補DMO登録		収益性のあるツーリズム企画・実施		
療育園跡地活用事業者	賑わい創出施設の整備周遊もたらす事業展開	サウンディング・公募	施設整備	賑わい創出の拠点となる集客周遊をもたせざる地域連携	枚方宿・淀川の結節点	
舟運事業者	枚方発着便の運航	八軒家浜⇄枚方の周航、観光コンテンツ強化	枚方停泊地・船着場の活用	大開港	夢洲/八軒家浜⇄枚方⇄上流域の周航	
アウトドア事業者など	アクティビティの展開キッチンカー出店	実証実験	イベント定着	アウトドア空間の日常化		
まちづくり協議会	五六市など	枚方宿くらわんか五六市ははじめとするイベントの展開など				
ホテル	宿泊者のまち周遊	建設		観光施策と連携	営業支援策(固定資産税相当額の補助)	
ひらかたパーク	市観光施策との連携	七夕、菊テーマにした共同イベントやパーク利用者のまち周遊に向けた連携				